



板持 文子 議員

再生可能エネルギーと
省エネルギー政策について

問 公共施設の屋根への太陽光
パネルの設置計画はあるのか

答 設置コストや維持管理経費も踏まえて
検討します

問 公共施設において、省エネに資する機器類の診断や古い機器のチェックは行っているのか。

答 環境部長

毎年電気使用量などの環境負荷にかかる複数の項目を記録・調査し、経年比較やチェックが行えるよう体制を取っており、今後、施設改修や機器更新が生じた場合は、そのあたりも考慮しながら検討する必要があると考えています。

問 木製サツシの熱伝導率がアルミより1200倍も熱を通しにくく、高い断熱性が注目されているが、公共施設において木製サツシの導入を検討されているのか。

答 環境部長

地球温暖化対策実行計画を検討している段階にあり、社会実装に繋げていく段階において、公共施設の高断熱や市民生活における省エネの推進など、広く検討が必要であると考えています。

増加や、栽培されたキノコ料理を振る舞う交流会や施設見学会の定期的な開催による地域交流の促進など、産業振興と地域交流の双方に貢献できるものと期待しています。

問 公共施設の屋根への太陽光パネルの設置計画はあるのか。

答 環境部長

公共施設への再生可能エネルギーの導入にあたっては、市としての率先実行が求められます。一方で、設置コストや維持管理経費も踏まえ、検討

市民の豊かさに繋がる再生可能エネルギー活用で市民が喜ぶ、未来に繋がる再生可能エネルギー設置事業がこれから益々大切であると考えます。

問 令和3年度に先進モデル施設として選定された旧今津西小学校での再生可能エネルギー導入事業では、地域振興策をどのように考え、実施しようと考えているか。

答 農林水産部長

太陽光発電による電気代の削減を契機とした生産能力の増強、それに伴う雇用の